

三、計量単位の統一はなぜ必要か

私達は古くからの習慣で前に(一)で述べたようにいろいろな単位を使用しているために

- (イ) 幾つかの系統の計量器を備えこれを使いわけなければならぬ
- (ロ) 買う品物によつて単位を使いわけなければならぬ
- (ハ) 比較や換算をしないと量の観念がわからないので手数と飛んだ間違が起ることがある
- (ニ) 生産に大きな無駄と支障がある

等非常に多くの不利不便があり、このことは皆様も常に体験してお困りになつておられることと思ひます。

これ等の不利不便を除くためにはどうしても計量単位というものを一つに統一しなければならぬのでありましておそろく皆様も統一には心から御賛成のことと思ひます

四、なぜメートル法に統一するか

それでは計量単位を統一するといつてもどれに統一したらよいかが大きな問題となる訳ですが、使いやすくしかもおぼえやすい等の面から考へて一番すぐれたものに統一しなければならぬことはもちろんです
そこで現在使われております各単位の長所短所を比較してみましよう

基礎	メートル系	ヤードポンド系	尺貫系
管理の組織	メートル条約により国際的に行われている。	各国が個々に行ひその間に差が起る	日本政府
十進法かどうか	十進法	不規則な進法	一部が十進法でない(面積、里程など)
単位の間の関係	完全に関連している	長さ、重さ、量など独立にきめられていてこれ等の間に関連性がない	関連がない
基礎	原器によつて確実であり、確実性を高める研究が国際的な組織によつて行われている	原器は不確実で実際はメートル原器に依存している(註一)	完全にメートル法との換算率で定められている(註一)

学術研究用として	学術研究用に適當でありヤードポンドの国でも例外なく用いられている	学術研究用には不便	学術研究用に全然用いられない
新しい単位を作るために	合理的に使へる	すでに電氣はヤード、ポンド法の単位は作られていない	使う意味はない
工業上に	広く用いられ且つ合理的に使へる	不便	やゝ不便
教育効果	速かである	広く用いられている、しかし計算は英国人にも複雑である	一部に用いられている
国際性	最も国際性があり、この性質はますます増加している	イギリス人、アメリカ人には向いても効果は遅い国際性がある、しかし同じ呼名でも内容の違ひも多い(註四)	日常取引に役立つだけ
普及率(人口に對して)	最高	二番目	日本だけ
直覚的かどうか	直覚的	イギリス人にも直覚的でない	比較的直覚的

註(一)

計量法では一尺は一メートルの三三分の一〇

一貫は三・七五キログラム

又アメリカでは

一ヤードは三九三七分の三六〇〇メートル

一ポンドは〇・四五三九二七七キログラム

とメートルおよびキログラムからきめて

註(二)

たとえばアメリカヤードは〇・九一四四〇一八三メートルであるが、イギリスヤードは〇・九一四三九二メートルで精密工業ではこの差が問題となる、なお計量法では一ヤードは〇・九一四四メートルである

註(三)

イギリスは貨幣の計量も不規則な非十進法である、薬局の場合の例をとると、粉薬はオンスで計る、オンスは八ドラム、ドラムは三スクループル、一スクループルは二〇グリーン等で薬剤関係者はこの煩雜さをきらつてメートル法に切り